

読売

教育ネットワーク

社会はまるごと学校——
すべての大人が先生です



高校ビブリオバトルで優勝、笑顔で喜びを語る阿部希望さん(大分県立芸術緑丘高2年) 2・3面へ

巻頭特集

全国高等学校ビブリオバトル2015 決勝大会

読書、ビブリオバトルの魅力を考える 2.3

全国大学ビブリオバトル首都決戦 4

全国小・中学校作文コンクール 5 日本学生科学賞 6

学校図書館げんきフォーラム@東京学芸大学 8・9

お知らせ・短信 7 米エール大学「エールで学べる大事なこと」 10

2016.1

Vol.13

全国高等学校ビブリオバトル2015 決勝大会

全国高等学校ビブリオバトル2015決勝大会が1月10日、東京都千代田区のよみうり大手町ホールで開催された。各地の予選会を勝ち抜いた36人の高校生が「ぜひ読んでほしい」という愛読書の魅力を熱弁した。会場を埋めつくした500人の聴衆の多数決で、「残像に口紅を」（筒井康隆著、中公文庫）を紹介した大分県立芸術緑丘高校2年、阿部希望さんが優勝した。（決勝大会の詳細は2月中旬ごろ、読売新聞に掲載されます）



表彰式後、記念写真に納まる決勝進出者6名（前列）とパネリストの斎藤孝、辻村、哲夫の3氏（後列右から）

決勝大会に先立ち、ビブリオバトル、読書の意義などについて考えるトークセッションが行われた。パネリストは、明治大学教授の斎藤孝さん、直木賞作家辻村深月さん、お笑いコンビ「笑い飯」の哲夫さん、ビブリオバトル普及委員会代表の岡野裕行さん。（司会はフリーアナウンサー近藤麻智子さん）

——日頃から読書の大切さを力説されている斎藤さんは、ビブリオバトルについてどのような感想をお持ちでしょうか。

斎藤 読書は静かな内面的な行為ですが、ビブリオバトルは外に向かつて表現することで本に対する自分自身の理解を深めていく。同時に発表を聞いた人が読みたくなるという連鎖が素晴らしいと思います。

岡野 連鎖というの

は本質を突くキーワードです。私たち普及委員会はビブリオバトルでコミュニケーションを創る、コミュニケーションを深めることを目的にしています。



岡野裕行
ビブリオバトル普及委員会代表、皇學館大学文学部准教授。

自分の中の生の言葉引き出す機会

——お笑い界で活躍されている哲夫さんは、ビブリオバトルの5分間という時間についてどう思われますか。

哲夫 漫才コンテストのM1だと、しゃべる時間はふたりで4



「笑い飯」哲夫
大学卒業後、お笑い界へ。1月に『ブッダも笑う仏教のはなし』を刊行。

分です。ビブリオバトルはひとりで5分、僕だったら、もてあますかもしれません（笑）。ラスト1分でだんだん吸い込まれていくような、まばたきも忘れるような紹介の仕方をしてもらえるといいかもしれません。

——辻村さんはビブリオバトルについてどのような印象をお持ちでしょうか。

辻村 本を通じて、自分の中の生の言葉

が引き出されていく機会になるのではないのでしょうか。言葉を組み立てながら、どういう気持ちでページをめくっていったのか、自分でも気がつくことがなかったことに気づくかもしれない。そして、ある意味、えこひいきしているような生の感情が聞けることも楽しみにしています。

——学生時代の読書体験、印象に残った本などをお聞かせください。



斎藤孝
明治大学文学部教授。著書に『声に出して読みたい日本語』など。

——日頃から読書の大切さを力説されている斎藤さんは、ビブリオバトルについてどのような感想をお持ちでしょうか。

——日頃から読書の大切さを力説されている斎藤さんは、ビブリオバトルについてどのような感想をお持ちでしょうか。



辻村深月
『ツナグ』で吉川英治文学新人賞、『鍵のない夢を見る』で直木賞受賞。

——日頃から読書の大切さを力説されている斎藤さんは、ビブリオバトルについてどのような感想をお持ちでしょうか。

——日頃から読書の大切さを力説されている斎藤さんは、ビブリオバトルについてどのような感想をお持ちでしょうか。



優勝

大分県代表
県立芸術緑丘高2年

阿部希望さん

「本好きの本好きによる本好きのための作品」



表紙は一見地味ですが、この本には、すごい仕掛けが隠されています。この作品には「あ」という文字が出て来ません。5頁目からは「ば」という文字が出て来ません。ページが進むにつれて使える文字が減っていくという不思議な

小説です。主人公の作家は「何か面白い話を書きたい」と思い、使える文字を少しずつ消していくんです。そうなる世界からモノがどんどん減っていきます。主人公の心情やストーリーを言葉遊びをしながら楽しめる小説です。皆さん、作文や手紙を書きますよね。「です」「す」が使えなかつたらとても困ると思います。作者の筒井先生は書き上げるまでに胃潰瘍で2回入院しています。その苦労が手に取るように伝わってきます。主人公が汗をかくシーンが出て来ます。でも「あ」という文字を使えないから「汗をかい」と書けないので「発汗した」と



「残像に口紅を」
筒井康隆著／中公文庫

言い換えます。こういうふうに普段は使わない言葉、難しい言い回しもいっぱい出て来ます。なので、この本を読むと国語辞典を丸ごと読んだみたいにいるような言葉を知ることできます。でも難しい言葉遊びだけではなく、「コミカルなシーンも出て来ます。使える文字が減っていくという話だから、映画化や漫画化はできません。本好きの本好きによる本好きのための作品です。ラストの2頁には「が」「ん」の2文字しか残っていません。筒井先生はどうされたのでしょうか。ちゃんとオチがついています。気になる方は是非一度読んでください。



四国代表・徳島県立脇田高2年
兼松綾那さん
『ぼくらはみんな生きている』
坪倉優介著／幻冬舎



東京都代表・都立練馬工業高3年
福永有希也さん
『君の隣にたべたい』
住野よる著／双葉社

全国高等学校ビブリオバトル

2回目となる今大会は昨年7月から、10のブロック大会（活字文化推進会議主催）に加え、21の都府県で予選を兼ねた大会が行われてきた。都府県大会の主体は教育委員会、高等学校文化連盟、地元大学など。校内でビブリオバトルに取り組む学校が増えているほか、地元での予選会に参加できるようになったことで、参加校は昨年の240校から650校に増えた。各大会で優勝あるいは上位入賞した36人は、決勝大会で6グループに分かれて予選に臨み、各グループのチャンプ本獲得者が決勝にコマを進めた。次回3回目の決勝大会は2017年1月8日（日）に、東京都千代田区のよみうり大手町ホールで開催する予定。県単位で予選会を開催していない県からも「決勝大会へ代表を送り出すにはどうすればいいのか」などの問い合わせが寄せられている。予選などに関する問い合わせは、活字文化推進会議事務局（☎03・3217・1486、平日の午前10時～午後5時）、メールでの問い合わせは、bib@yomiuri.comへ。



作家の川上未映子さん(後列中央)、慶應義塾大教授の片山善博さん
(同右から2人目)らゲストと記念撮影する決勝進出の5人(前列)

「全国大学ビブリオバトル2015首都決戦」(活字文化推進会議主催、ビブリオバトル普及委員会共催、読売新聞社主管)が2015年12月23日、東京都千代田区のみどり大手町ホールで開かれた。914人によって争われた全国の地区予選を勝ち抜いた30人が出場。準決勝を勝ち残った5人が決勝戦に臨み、最優秀賞の「グランドチャンプ本」に、名古屋大学文学部3年の河合さやかさんが紹介した『僕が20世紀と暮っていた頃』(野田秀樹著、中公文庫)が輝いた。

全国大学ビブリオバトル首都決戦

最優秀賞に名古屋大の河合さん



『僕が20世紀と暮っていた頃』
野田秀樹 著／中公文庫

biblio BATTLE
河合さやかさん
(名古屋大学文学部3年)
グランドチャンプ本

河合さんが紹介した物語は、西暦2035年の年の暮れ、80歳を目前にした老人が孫2人を相手に、今となってはなくなってしまう20世紀の事物について語り始める。そろばんやガリ版、ちり紙、ダイヤル式電話などを話題に、二つの世代間で繰り広げられる珍問答が愉快だ。河合さんは「読む人によって、また、世代によって異なる感想を持つはず。読んでみて、他の人と語り合ってほしい」などと、笑顔で会場に語りかけた。河合さんは前回2014年決戦でも「準グランドチャンプ本」



河合さやかさん

河合さん「自分が大好きになった本を選んだ」

に輝いた実力者。「今回は紹介したいと思った本を取り上げたが、今回は自分が大好きになった本を選んだ。たくさんの方が読みたいと思ってくれたことがうれしい」と話した。

今成さん

「生きる意味、考えさせられる」

今回の「準グランドチャンプ本」は、日本赤十字九州国際看護大学看護学部2年の今成祥さんが紹介した『あん』(ドリアン助川著、ポプラ文庫)。ハンセン病をめぐる偏見を一つのテーマに据えた物語で、今成さんは「この本を読むと人生って何だろう、生きる意味ってこういう



今成 祥さん

進グランドチャンプ本

今成 祥さん

(日本赤十字九州国際看護大学看護学部2年)



『あん』
ドリアン助川 著／ポプラ文庫

特別賞

千田美聡さん

(青山学院大経営学部3年)



『黒と茶の幻想』
恩田 陸 著／講談社文庫

ことなのでは、と考えさせられる」と、観衆にアピールした。

千田さん
「読後、旅に出たくなるはず」

また、青山学院大経営学部3年の千田美聡さんが紹介した『黒と茶の幻想』(恩田陸著、講談社文庫)が特別賞に選ばれた。学生時代の同窓生だった三十代後半の男女4人がY島の森へ旅立ち、それぞれの過去を巡る「美しい謎」を解き合う。千田さんは「読み終わった後、無性に旅に出たくなるはずですよ」と、作品の魅力を話した。

このほかの決勝戦出場者と紹介本は次の通り。

▽甲南大フロンティアサイエンス学部1年、山平伊織さん「人生ドラクエ化マニュアル」(JUNZO著、ワニブックス)

▽聖学院大人間福祉学部1年 安井彩乃さん「凍りのくじら」(辻村深月著、講談社文庫)

読売新聞社賞

●**小学校低学年** 内田早紀（埼玉県寄居町立寄居小3年）／大石美佳（鹿児島県垂水市立松ヶ崎小1年）／樋口順子（富山市立堀川小3年） ●**同高学年** 伊東新之助（東京都・立教小6年）／古泉修行（新潟大学教育学部付属新潟小5年）／矢部千晴（千葉県茂原市立豊田小6年） ●**中学校** 川村映（東京都・女子学院中3年）／瀧田小麦（札幌市・札幌聖心女子学院中3年）／谷口琴音（愛知県岡崎市立甲山中1年）

JR 賞

●**小学校低学年** 細川李果（奈良県・奈良学園小3年） ●**同高学年** 井崎英里（仙台市・仙台白百合学園小6年） ●**中学校** 松田わか（富山市立堀川中2年）

イーブックジャパン賞

●**小学校低学年** 斎藤綾香（栃木県栃木市立栃木第四小2年） ●**同高学年** マイヤー七海（ドイツ・ブリュッセルベルグ小4年） ●**中学校** 竹市琴音（京都府綾部市立東綾中2年）

入選

●**小学校低学年** 青木誓己（山形県米沢市立北部小3年）／赤間綾（山口県下関市立向井小2年）／笠井美愛（新潟県佐渡市立畑野小3年）／辻本新（東京都・聖徳学園小3年） ●**同高学年** 安藤詩夏（津市立西が丘小6年）／久保田聖那（高知県四万十町立影野小6年）／田中ひかる（熊本市立出水小5年）／前川郁（岩手県宮古市立崎山小4年） ●**中学校** 井上実咲（宮崎市立生目台中3年）／神田佳澄（長崎大学教育学部付属中2年）／小菅勇太郎（マレーシア・テンビーインターナショナルスクールミリ2年）／田中萌衣理（千葉県いすみ市立岬中3年）



文部科学省初等中等教育局の矢幅視学官から表彰状を渡される安田君

全国小・中学校作文コンクール 受賞者決定

第65回全国小・中学校作文コンクールの受賞者が決まり、文部科学大臣賞には、小学校低学年の部で高知県四万十市立西土佐小2年石本るんさんの「わたしがえ顔にしてあげる!!」、高学年の部では宮崎県日向市立日知屋東小5年安田瑤君の「農業体験で感しゃの心が」、そして中学校の部には2年連続で静岡サレジオ中2年高田愛弓さんの「夢の跡」が選ばれた。中央表彰式は12月5日、高円宮妃久子さまをお迎えし、東京都内のホテルで開かれた。

コンクールは1951年（昭和26年）から始まった。戦後間もない日本が文化の復興を進める中、その担い手である子供たちが自分で自分の考えをまとめて文章にしていける力をつけることが大切だとの理念から始まった。今回は全国から3万5095点（小学校低学年4883点、高学年8081点、中学校2万2131点）の応募があり、前年に比べて約4000点増えた。

表彰式では中央審査委員の児童文学作家・石崎洋司さんが「今年は特に作文を教育の中で書くことの効用をあらためて実感させられた選考となった」と総括。文部科学大臣賞の作品について、小学校低学年の部の石本さんの作品で母親が泣き出す場面を挙げ、「その場の感情をぶつけるのではなく、いったん心の中にしまい、後で思い出してわかりやすく冷静に対処している」と評した。

読み手の気持ちを考えて書く

また、小学校高学年の部の安田君の作品については「書き出しの農業小学校とは何だろうと読み手に疑問を抱かせ、それの一つひとつ解いていく、読み手の気持ちを考えて書いていくことは大変重要な書き方だ」と述べた。

2年連続で文部科学大臣賞に輝き、ネットなどで話題になった高田さんの作品についても「単に題材がセンセーショナルで文章がうまいだけではない。熱い関心を持ちながら冷静に心

の中で処理をして書くことの成長を見ることができた」と話した。この後、石本さんが受賞作の「わたしがえ顔にしてあげる!!」を朗読。

高田宮妃久子さまは「人それぞれにその時書ける文章があつて、とても大事な成長の記録だと思えます」とお祝いのお言葉を述べられた。

最後に高田さんが「枚数やテーマの制限が無いこの作文コンクールで私は思いのたけをすべて原稿用紙につけました。文章は言葉であり言葉は心でもあります。文章を扱うすべての仕事はその心によってなされるように、また、自分自身が常にそうあるようにいたいと思います」と感謝の言葉を述べた。

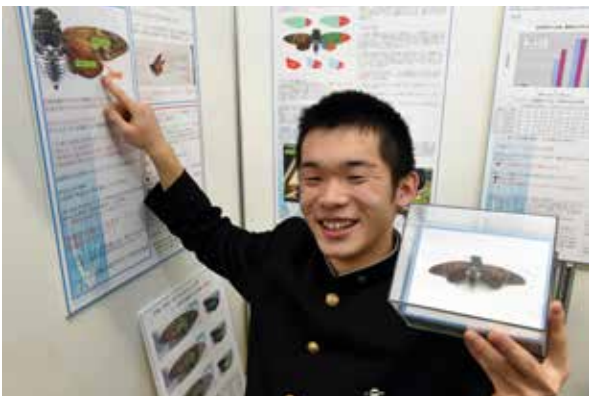
【主催】読売新聞社／【後援】文部科学省、各都道府県教育委員会／【協賛】JR東日本、JR東海、JR西日本、イーブックイニシアティブジャパン／【協力】三菱鉛筆

文部科学大臣賞の3点の要約は、11月30日の読売新聞に掲載されました。また、教育ネットワークのウェブサイト<<http://kyoiku.yomiuri.co.jp/>>でも掲載しています。また、入賞作品の全文は3月に発行予定の「優秀作品集」（紙書籍版）に掲載します。また、47都道府県と海外の最優秀作品を集めた電子書籍版の作品集が3月までにイーブックジャパンのウェブサイト<http://www.ebookjapan.jp/ejb/special/sakubun2015.asp>で配信されます。

第59回

日本学生科学賞の入賞者決まる

第59回日本学生科学賞（読売新聞社主催、科学技術振興機構共催、旭化成協賛）中央最終審査が2015年12月22、23の両日、東京都江東区の日本科学未来館で行われ、中学、高校それぞれで内閣総理大臣賞など各賞が決まり、24日には同所で秋篠宮ご夫妻をお迎えして中央表彰式が行われた。（学生科学賞の詳細は、1月23日の読売新聞に掲載されました）



チョウの羽を参考に考案した団扇を持つ早川君（上）とセミの羽の研究が評価された矢口君

入賞者（敬称略。共同研究は学校名のみ）◆…国際学生科学技術フェア（ISEF）参加者

	中学	高校
内閣総理大臣賞	京都市立桃陵中・早川優希◆	三重県立伊勢高・矢口太一◆
文部科学大臣賞	八丈町立三原中（東京） 出雲市立第三中（島根）片岡征人	広島県立府中高◆ 広島学院高・西村啓佑◆
環境大臣賞	千葉市立稲毛高付属中・稲川翔子	渋谷教育学園幕張高（千葉）◆
科学技術政策担当大臣賞	和光市立第二中（埼玉）岡野美聡	清心女子高（岡山）◆
全日本科学教育振興委員会賞	仙台市立第一中・浅利夏希	滋賀県立米原高
読売新聞社賞	福井大付属中・坂本孝義	秋田県立秋田中央高◆
科学技術振興機構賞	新潟市立白新中・山田幸大	埼玉県立坂戸高
日本科学未来館賞	金沢市立緑中・坂本友理香	大分県立大分豊府高
旭化成賞	成田市立玉造中（千葉）安井風菜	東京都立葛西工高・久松厚介
読売理工学院賞	調布市立第八中（東京）石山翔雲	高知県立春野高
優秀賞	郡山市立郡山第六中（福島）	埼玉県立浦和一女高・岡部七子◆
	ふじみ野市立大井東中（埼玉）	名古屋市立向陽高
	八丈町立三原中（東京）	熊本県立熊本西高
	刈谷市立朝日中（愛知）	大分県立別府鶴見丘高
学校賞	八丈町立三原中（東京）／広島大付属高	
指導教諭賞	元千葉県立安房高・野曽原友行／新潟市立白新中・山内伸二	

内閣総理大臣賞には、中学校の部で京都市立桃陵中3年早川優希君が、高校の部で三重県立伊勢高2年矢口太一君が輝いたほか、計30点が文部科学大臣賞、環境大臣賞、科学技術政策担当大臣賞、読売新聞社賞、旭化成賞などに決まった。

同賞は地方の予備審査を入れると約6万人の生徒が参加。中学、高校合わせて中央審査に284点の研究が出品された。さらに最終審査には中学校の部15点、高校の部15点が残りの、同

館に研究発表ブースを設けて2日間にわたり、審査委員に研究内容を説明した。

内閣総理大臣賞に早川君

中学の部で内閣総理大臣賞に輝いた早川君は「順風満帆（じゅんぷんまんぱん）を極める」と題した研究。昨年の第58回で「順風満帆（じゅんぷんまんぱん）快を極める」で文部科学大臣賞に輝いているが、その研究をさらに進めて、動植物の形を人工的にものに応用し、団扇（うちわ）の紙質など徹底的にこだわって「風の奥

高校の部は矢口君

高校の部の矢口君の研究は、「セミの離陸飛行（りりつひこう）〜セミの後翅（こうし）」と題した。セミが飛び出す瞬間に、後翅（こうし）がどのように動くかを観察し、その動きを模倣（まね）して、団扇（うちわ）の紙質にセミの後翅（こうし）の構造を応用し、団扇（うちわ）の紙質を改良した。この研究を基に「セミを模倣（まね）した小型飛行ロボット」に関する特許を出願している。表彰式では父・昌義さんの隣で万感迫る思いで涙を見せながら自分の名前が最後に呼ばれる瞬間を待っていた。「中学2年生のころから研究してきました。これまで学生科学賞に応募してきましたが、内容が甘くうちのめされてきました。本当に信じられませんでした」と喜ぶ。

今年のISEFは米・アリゾナ州フェニックスで5月8〜13日の日程で開催される。

情報科学分野で文科大臣賞

表彰式では長浜嘉孝中央審査委員長が「物理分野では中学、高校ともに身近な題材を扱った研究が多く、化学分野では中高校ともに電池や電気分解を扱った研究に優れたものが見られた。高校生の部では、コンピュータのサイバー攻撃被害を減少させる研究が情報技術分野での文部科学大臣賞の受賞となった」などと講評した。

18歳の1票 「18歳の1票」主権者教育セミナー

小中高校教諭がNIE (Newspaper in Education) 実践報告を行い、選挙権年齢の引き下げに伴う問題を考える「18歳の1票 主権者教育セミナー」(主催・読売新聞東京本社)を開きます。

選挙権年齢を18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立し、高校生の有権者が誕生することから、主権者教育の充実が求められています。セミナーでは、文部科学省の主権者教育担当者が、副教材を作成した背景や、新聞などを活用する際の注意点、政治的中立性などについて詳しく解説します。

「第24回読売NIEセミナー」を兼ねており、授業で新聞を教材として活用するNIEに詳しい小中高校教諭が、実際の記事を用いて、選挙や社会参加について児童生徒とともに考えた実践例を紹介します。最後に、参加者の皆さんに、新聞を使った主権者教育を体験していただきます。参加費は無料です。

- 日時 2月27日(土) 13:00~16:00
- 場所 読売新聞東京本社社内会議室(千代田区大手町1-7-1)
- 内容 《講演》「主権者教育と新聞などの資料の活用」
梶山正司(文部科学省初等中等教育局主任視学官)
- 《実践報告》「主権者としての意識に触れる」
丸吉美紀(千葉市立鶴沢小学校教諭)
「スピーチから主権者意識を高める」
小谷野弘子(さいたま市立植竹中学校教諭)
「政策を比較して模擬投票」
大塚功祐(千葉県立流山おおたかの森高校教諭)
- 《実習》「新聞から政策課題を考える」
鹿野川喜代美(読売新聞東京本社NIE企画デザイナー)
- 申し込み ①氏名(ふりがな) ②年齢 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号(日中連絡可能) ⑥勤務先名称 を記入の上お申し込みください。
メール: nie7717@yomiuri.com
はがき: 〒100-8055 読売教育ネットワーク事務局「NIEセミナー」係
FAX: 03-3217-8362
- 締め切り 2月14日(必着)。申し込み多数の場合は抽選。参加いただく方には、聴講券としてはがきを送ります。セミナー当日お持ちください。
- 問い合わせ 読売教育ネットワーク事務局 「NIEセミナー」係
☎03-3217-1989(平日10:00~17:00)

News

第46回世界児童画展 審査終了

第46回世界児童画展(主催=美育文化協会、後援=読売新聞社ほか、協力=ぺんてる株式会社)の国内最終審査が昨年12月11日、海外審査が1月13日と14日に、読売新聞東京本社で行われました。入賞作品の表彰式は3月28日、東京国立博物館で行われ、同時に一部入賞作が展示されます。

同児童画展は1970年、大阪で開催された万国博覧会を機にスタート。子どもたちの感性と理性の調和がとれた成長を願って、子どもが自ら創り出す造形文化の推進支援と国を越えて世界の人々をつなぐ国際相互理解を目的として開催されています。募集対象は3歳から15歳までの絵、版画、デザインなど平面作品で未発表のもの。

第46回は、日本を除く世界43の国と地域から2万6512点、日本国内から5万989点の応募がありました。

入賞作品の展示会は3月の国立東京博物館を皮切りに、来年3月まで全国を巡回して開催されます。詳細は美育文化協会(電話: 03-5825-4801)あるいは、ウェブサイトへ。
<http://www.biiku.jp/>



昨年の作品から

出前授業「新聞社ならではのテクノロジー」開講

読売新聞東京本社は昨年12月、技術総合職の技術を紹介・説明する出前授業「新聞社ならではのテクノロジー」を開講しました。これまでは、新聞記者が取材経験に基づいた様々な問題について語る出前授業はありましたが、技術スタッフが新聞制作の裏側を支える技術を紹介する出前授業は初めてです。

新聞記者が取材した情報をいかに早く「新聞」や「WEB」といった製品(商品)にして皆様にお届けできるか。それを常に考えている「メーカー」の一面を持つのが新聞社の技術社員です。記者が取材した現場写真や記事を、本社に送信するためのアプリケーションや通信環境。それら素材を的確に構成し、新聞紙面に組み上げるための新聞組版に特化したレイアウト機能。毎日900万部以上を短時間に印刷する技術。新聞に掲載された記事や写真をWEBにアップ、ヤフーなど各メディアに配信する技術。新聞社にはたくさんの技術が集結しています。その技術をご説明します。どんな仕組みで皆様の手にニュースが届いているか聞いてみませんか。

対象は、小学生から大学院生までの年代にも対応します。実施は無料。申し込み、お問い合わせは、教育ネットワーク事務局(☎03-6739-6985)へ。

学校教材用新聞 特別定価のご案内

読売新聞は、小・中学校や高校、大学などが教材として「読売新聞」や英字新聞「ジャパン・ニュース」を活用する場合、定価の半分以上になる「学校教材用新聞特別定価」で提供しています。同一の日付の新聞をまとめて10部以上使用する場合は対象です。読売新聞の1部売り定価は朝刊130円、夕刊50円、ジャパン・ニュース150円ですが、学校教材用新聞は①10~30部まで

朝刊1部40円、夕刊1部20円
ジャパン・ニュース1部70円

②31部目から
朝刊1部30円、夕刊1部10円
ジャパン・ニュース1部50円

読売中高生新聞(毎週金曜日発行)と読売KODOMO新聞(毎週木曜日発行)の1部売り定価は、読売中高生新聞200円、読売KODOMO新聞150円のところ、いずれも5部以上であれば、1部当たり中高生新聞が20円、KODOMO新聞が15円となります。

お申し込みは、「読売新聞」「ジャパン・ニュース」は配達希望日の2日前(土、日、祝日を除く)までに、「読売中高生新聞」「読売KODOMO新聞」は配達希望日の10日前までに、申込書に必要事項を記入し、FAXで下記へ。申込書は読売新聞のホームページの「学校教材用新聞」(<http://www.434381.jp/26/school/>)からダウンロードできます。

●申し込み・FAX番号は以下の通りです

- 東京本社 03-3216-8824
- 大阪本社 06-6361-2424
- 西部本社 092-715-5933



文部科学省
情報教育振興室長
新津 勝二 氏

にいつ・かつじ
1989年入省。初等中等教育局教科書課課長補佐、同局教育課程課課長補佐、筑波大東京キャンパス事務部長などを経て現職。

中央教育審議会教育課程企画特別部会は2015年8月26日に、学習指導要領改定の方針を論点整理の形で報告しました。その中で、情報通信技術（ICT）が急速に発展する中、ICT技術を理解し使いこなせる科学的素養をすべての子供に育てていくことが重要であるとされています。

学習指導要領改定のポイントは、新しい時代に必要な資質・能力を、①個別の知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③人間性や主体的に学ぶ力——の三つの柱に整理して、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」ということで、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善にも重点が置かれていることです。学習評価充実の観点から、カリキュラム・マネジメントもキーワードとして取り上げられています。蓄積された知識を礎としながら、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出すことが求められており、まさにこの部分がアクティブ・ラーニングであり、情報活用能力の育成にもつながるのではないかと思います。

カリキュラム・マネジメントの実現やアクティブ・ラーニングの視点に立った学びを推進するため、教職員定数の拡充とともに、ICTも含めたインフラ環境の整備を図ることも重要であると明記されており、これには、学校図書館及び蔵書の充実も入ります。

同年9月15日には高大接続システム改革会議から中間まとめが出されました。受け身の教育から能動的な学習への質的転換を目的として、小学校から大学教育までの一貫した接続のために、二つの新テストが検討されています。一つは、「高等学校基礎学力テスト（仮称）」、もう一つがセンター試験に代わる「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」です。この改革により、小学校から大学まで、また、高校卒業後に専門学校に進んだり、就職したりする人も含めて、知識・技能だけでなく、思考力、判断力、表現力、そして主体性、協働性、人間性を身につけることができます。

教育の情報化は、三つの側面を通じて教育の質を向上することを目的としています。一つ目はICT化が進む社会への対応力を育成するため、情報活用能力を全ての児童生徒にバランス良く身につけさせること、次に教科指導におけるICTの活用により、分かりやすく深まる授業を実現すること、最後に、先生の負担を軽減するため、校務の情報化を進めることです。しかし、学校のICT環境整備は自治体間での格差が大きな課題となっています。

教育改革の大きな方向性を踏まえると、ICT環境整備と教員のICT活用指導力の向上、子どもの世界を広げる窓としての学校図書館の役割は重要性が高まっています。各自治体と設置者は、教育の情報化と学校図書館の充実を加速する必要があると思います。

ICT環境の整備促進を

基調講演



司会・前田稔氏
東京学芸大学准教授

東京学芸大学では、質の評価、評価されたものの分類といった作業、さらに研修するという目的で、「デジタル評価プロジェクト」を進めてきました。成果に期待していただけだと思います。

学校図書館げんきフォーラム @東京学芸大学



情報通信技術（ICT）が進み、教育現場が変革をせまられる中、デジタル教材の使用法と学校図書館の役割を考える「学校図書館げんきフォーラム@東京学芸大学」が2015年11月21日、東京学芸大学（東京都小金井市）で開かれた。文部科学省の新津勝二・情報教育振興室長が「アクティブ・ラーニングとデジタル教材」のテーマで講演したほか、学校図書館関係者らによるトークセッションが行われた。出版・教育産業関係者らのブース展示などにも多くの人が集まった。（この記事の本文は、読売新聞の特集面で15年12月25日に掲載されました）

——デジタル教科書について教えてください。

加藤 現在のデジタル教科書は教材で、指導者用と学習者用があります。指導者用は教員が大画面に映して使うもので、学習者用は端末を子供が1人1台で使うものです。指導者用は製品化され何年もたっており、普及が進んでいます。一方、学習者用はこの春に教社から出たばかりで、実践研究が始まった段階です。

——学校図書館の歴史を教えてください。



福田孝子氏 埼玉県三郷市教育委員会 読書活動支援員

デジタル教育の案内役に

福田 学校図書館法の成立は1953年です。当分の間、司書教諭を置かなくてもよいとの項目があったのですが、2003年に12学級以上ある学校は司書教諭を置かなければならないと改正されました。

——司書教諭はあまり機能していないと聞きます。

福田 活躍できないのは忙しさに原因があります。東京都荒川区では、授業での図書館活用のため、担任を持つ司書教諭が打ち合わせ時間などを週2時間確保できるように、講師手当を出して人を補充するモデル事業を行っています。

——学校図書館という場所についてどう感じますか。

加藤 普通の図書館では、ビデオを見ることができたり、パソコンで検索したりします。教室にパソコンを置いて自由に使わ

福田 活躍できないのは忙しさに原因があります。東京都荒川区では、授業での図書館活用のため、担任を持つ司書教諭が打ち合わせ時間などを週2時間確保できるように、講師手当を出して人を補充するモデル事業を行っています。

加藤 パソコンの検索はキーワード検索が主流ですが、キーワード検索だけでは適切な教材を見つけられないことが多いでしょう。何らかの分類をして、教員が見つけやすいようにする必要があります。



加藤直樹氏 東京学芸大学教育実践研究支援センター准教授

せることに問題があるようならば、学校図書館に置き、検索は図書館で、とすればいいのではと思います。

——学校から支給されたタブレットにアプリを入れる際に、子供が事件などに巻き込まれないよう気をつける必要があります。

福田 アプリのことは、子供の方が先行しており、問題が起きても教員は対応できない状況があります。学校図書館ができることは、アプリの質を判断する目や力を育てることではないでしょうか。学校図書館は、基準を決め、予算内でより良い本を選ぶ努力をしてきました。子供にもそういう目を持たせた

教材活用法アドバイス 学芸大に 来年度センターを設立



東京学芸大学の藤井健志副学長＝写真＝はフォーラムの最後に、2016年度に学内に設立する予定の「デジタル教材評価センター（仮称）」について説明した。

様々なデジタル教材が作られている中、学校現場にはどれを選び、どのように使ったらいいのか分からないといった戸惑いがあるといい、同大は12年から「デジタル評価プロジェクト」を立ち上げ、デジタル教材の評価方法、研修方法などを検討してきた。

センターではこれを踏まえ、学校図書館関係者や司書教諭の協力を受けながら、教材の評価・選択基準を設ける。授業作りを念頭に置いてデジタル教材を評価するとともに、使用法を指南したり、ICT活用をサポートしたりする。藤井副学長は「デジタル教材などで問題があれば、相談に応じられるようなセンターにしたい」と構想を話した。

海外で学ぶ・リレーエッセー ⑬ 米エール大学「エールで学べる大事なこと」

慶應義塾高校中退、UWCアトランティック・カレッジ（英国）卒
米エール大学2年

野島大嗣さん

野島大嗣さん



野島大嗣さん（左端）（本人提供）



高校3年生の時、僕にとって大学生活というものは全く想像のつかないものだった。そのため、自分の人生にとって一番重要な4年間を、大学のウェブサイトに上に載っている表面的な情報の上に頼って選ぶことに対して非常に心配していた。エール大進学を決めたのは、全寮制で4年間を一緒に過ごせるのが魅力だったことがある。また、中高生時代は管弦楽団に所属していたので、大学の管弦楽団も魅力だった。

エールで生活していて、気づくことのできた重要な事は、日

本にいたときには、それほど気にかけていなかった政治問題への関心を深められたことだ。

キャンパスでの会話のテーマがしばしば政治になるし、ロースクールはビルとヒラリー・クリントン夫妻など多くの政治家を輩出しているからだ。

エールでの最初の1年をアベノミクスや日本における女性の社会進出などの、政治に関する問題について話して過ごした経験を通して、卒業後は政治家と技術者たちのコミュニケーションを改善するために、サイバーセキュリティ分野に進みたい、と思うようになった。そのため、2年目にはコンピューター科学科に進むことにした。

くつろいでいて、気取らない、エールの学生にはそのような特徴があると思う。寮での深夜の会話で、死刑廃止問題といった社会問題の話が、例えば好きな女優の話など、個人的なつまらない話とごっちゃになることもある。

僕がエールのあるニューヘイブンの街を歩いている時、数名のエール生が、道に座り込んでいるホームレスの人の前で立ち止まって、世間話をしている姿を見たこともある。友人の一人が、ホームレスの一人の誕生日祝いへと僕を招いてくれたこと

もある。彼らの行動と誠実さは、自分の価値観に影響を与えてくれた。

このような大学生活は、図書館にもって学ぶことができること以上に、自分を成長させてくれるものであると感じている。そしてそれが、僕がエールで学んでいることの幸せを感じる瞬間である。

（会報編集部抄訳 The Japan News 2015年8月14日）

エール大学

米コネティカット州ニューヘイブンにある1701年創立の総合大学。米北東部の名門私立大学8校で構成されるアイビー・リーグの1校で、モットーは「光と真実」。卒業生には、クリントン元大統領夫妻以外にも、ブッシュ元大統領、ケリー国務長官など、有力政治家が多い。学生総数は11250人。

海外留学を目指す高校生に進学支援を行っているNPO法人「留学フェロシップ」のメンバーが、海外のキャンパスライフをリレー連載します。留学フェロシップの詳細はウェブサイト（<http://ryu-fellow.org>）へ。

英語の原文は<http://the-japan-news.com/news/article/0002333729>でお読みいただけます。